

三重県伊勢市立伊勢総合病院

市立伊勢総合病院は、昭和20年7月15日に開設されました。近い将来の展望を見据え、地方公営企業法全部適用を検討することとなり、一年半あまりの期間を経て平成16年4月1日に移行しました。



市立伊勢総合病院 外来受付

選挙後、本格的に始動していくようです。

市の組織は分庁方式をとつており住民の利便性を考え、どの庁舎でも受付の出来る総合窓口を設置しています。

豊後大野市は総合支所方式ですが、機構改革の中で特筆すべき点としては、職員組合との労働協約締結のための労使協議がスムーズに行えたことと、実施後は病院サイドで目標値を決めそれに向かって取り組むなど、職員の意識にも変化が見られるとのことでした。

視察研修

厚生文教

産業建設

REPORT

大阪市中央卸売市場

大阪市中央卸売市場では流通の概要など説明を受けました。

当市場での県産農産物の取扱販売金額は約33億円です。豊後大野市については、さといも、かんしょ、ピーマン、ゴーヤがあり、その販売額は年間約5億円となっています。

市場の動向として、平成6年から輸入品が増加し、

野菜などの低迷は、国内の生産力の低下がその原因と思われます。今後、主要生産物を中心に生産力の向上を図る必要があるとの提言がありました。

大阪市南港市場は、平成16年の県産牛の出荷頭数は2416頭、販売額17億8000万円でした。

年々、出荷頭数が減少傾向にあるため、今後は、頭数確保が課題とのことでした。



活気ある中央卸売市場

今回の研修で、豊後大野市の農畜産物の販路は十分確保できていると考えられた。大分県は、全国的に見ても有数の繁殖地帯と評価を受けており、今後とも产地強化の必要性があります。

考え方をさせられました。

議会運営では、在任特例を適用したため議員数60名と多く、一般質問は、1人30分に時間制限をしていました。本年11月、定数24人の